

兵庫県
保険医協会

明石支部
ニュース



No. 319
2021・1・25
投稿歓迎!

兵庫県保険医協会 明石支部
支部長 吉岡 巖
神戸市中央区海岸通一丁目二番三二号
神戸フコク生命海岸通ビル五階
TEL 078-393-1801

年頭のご挨拶

明石支部長 吉岡 巖

新年あけましておめでとうございます。

日頃より支部活動へのご理解・ご協力をいただき感謝しております。

19年暮れに中国武漢市で新型コロナウイルス感染(COVID-19)が確認されてから、ほぼ1年間で世界中を席卷し多数の感染者と死者を出しました。日本でも20年の年初から徐々に感染者が増え始めました。

20年4・5月の新型コロナウイルスの第一次感染ピークにより外来・入院患者数の激減に発した医療機関の経営危機の中で、4月の診療報酬改定はその評価も確定しないままに、危機からの立ち直りに全力を傾げざるをえませんでした。しかし、多くの医療機関では未だに19



年度よりも減収減益が続いており、回復の兆しが見えない状況で、日本の医療保険制度のもろさを露呈しております。

新型コロナウイルスに関しても

受け入れ医療機関(病床)の不足から、入院を希望する人が自宅待機に回されたり、重症患者の収容先が満床状態になり受け入れ困難となる厳しい状態が続いています。

新たな感染者の発生を抑制するような社会的な施策を国に要請し、感染された方に対しては今となっては医療者を中心にそれぞれの立場で全力で対処するしか道はないようです。

大災害・パンデミックに対して極めて脆弱であることを露呈した日本の医療体制・診療報酬体系について今年には真剣に考えなければならぬと思っておりますし、これからの医療体制が余裕のあるものに変わらなければなりません。

兵庫医協会は、この新型コロナウイルス危機の中でしっかりと考え積極的に行動していきたいと思っておりますのでご支援ご協力くださるようお願い申し上げます。

●支援金の申請はお済みですか? 「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業に関するQ&A (第10版)」 令和2年12月22日付より抜粋

Q: 医療機関・薬局等における感染拡大防止等を支援するための補助金について、例えば以下のような経費も対象となり得るといふことでよいでしょうか。

(例) ①日常業務に要する消耗品費(固定資産に計上しないもの) ②日常診療に要する材料費(衛生材料、消毒薬など) ※直接診療報酬等を請求できるもの以外 ③換気のための軽微な改修(修繕費となるもの) ④水道光熱費、燃料費 ⑤電話料、インターネット接続等の通信費 ⑥休業補償保険等の保険料 ⑦受付事務や清掃の人材派遣料で従前からの契約に係るもの ⑧受付事務や清掃の外部委託費で従前からの契約に係るもの ⑨日常診療に要する検査外注費 ※直接診療報酬等を請求できるもの以外 ⑩既存の施設・設備に係る保守・メンテナンス料 ⑪既存の診療スペースに係る家賃 ⑫既存の医療機器・事務機器のリース料

A: 補助金の目的に合致するものは、感染拡大防止対策に要する費用そのものにとどまらず、院内等での感染拡大を防ぎながら地域で求められる医療を提供するための診療体制確保等に要する費用について、幅広く対象となり、例示された経費も対象となります。 ※従前から勤務している者及び通常の医療の提供を行う者にかかる人件費は対象になりません。

■ご不明な点は協会税務経営部 TEL 078-393-1807まで



《会員投稿》

《丑(うし)年に因んで》

明石市 永本 浩

十干十二支というが、十二支の起源は古く殷の時代からあった(十干は紀元前4世紀頃)。12という数は、木火土金水の五星の中で格上の木星の公転周期に由来し、12年で天を一回りすることに由来する。

184種もいる偶蹄類は現在地球上で大繁栄し、その中で牛は肉牛・乳牛等、人間の食料源として極めて有用である。ただし牛肉1kgに穀物12kg要する上、人間の16倍の老廃物を出す。牛を大量に飼育する結果、その尿尿から出るメタンガスは環境汚染の原因にもなる。また、牲畜により結核は牛から、ハンセン病は水牛から人間に感染した。

「馬を牛と言う」という故事がある。孔子が垣根から頭を出した馬を見て牛だと言うと、一番弟子の顔回が即座に孔子の意図を忖度し、十二支の「午(うま)」は頭を出すと「牛」になると謎解きをした。

最大のコロナ対策とは

— マスク・手洗いの励行こそ —

明石市 池本 恒彦

コロナが世界を駆けめぐっている。死者に關しては、はじめ中国で多数出現。日本でも死亡数が増えているが、アメリカ大陸の死者の多さにはおどろかさされる。死者に關してはイタリアやスペインも比較的多いが、アメリカ大陸で死者が急増したのは、医療技術というよりも医療制度の後進性によるものだろう。

アメリカ合衆国の死者が世界で最も多く、特に黒人が白人の約3倍にもなるのは黒人と白人の医療普及の差と考えられる。白人でも死者はヒスパニックと呼ばれるスペイン系に多い。ヒスパニックは中南米からの移住者が多く、



「モリ・カケ」に続き「サクラ」で窮地に陥った安倍前総理は第一秘書を政治資金規正法違反で略式起訴させた。前総理をかばう「蜥蜴(とかげ)の尻尾切り」そのものである。孔子先生と、責任転嫁した前総理とを対比するのは孔子先生に失礼だが、忖度は昔からあったことが分かる。ましてや安倍氏は三国志の「泣いて馬謖を切る」孔明になぞらえるほどの人物でもない。

現在日本の政治・経済は米国に牛耳られているが、いつまでも片務的な属国では未来がない。大病院の勤務医が独立して医院を開業するが如く、「寧(むし)ろ鶏口と為(な)るも、牛後と為る無かれ」。口と後、肛の発音は、すべて「ko」である。大国に従属するより、小さくても豊かな独立国が良い。

コロナ禍に明けくれた昨年であったが、期待されているvaccineも、牛痘から得た種痘、即ちラテン語の牝牛vaccaに由来する。新年を迎え、ワクチンにより人類が集団免疫を得てCOVID-19の突起の蛋白質の性質を解き明かし、根治できる新薬の目処が立つことを望む。

アメリカの富裕層とされるアングロサクソンでは死者はずつと少ない。

このことはコロナにおいても、生活水準が結果にもつとも影響することを示している。コロナ予防となるマスク着用や手洗いでも、生活に追われればおろそかになりがちである。肉などのごちそうをたっぷり取れば、体力がついてクラスターの発生を予防できるだろう。金持ちの住む住宅街でクラスターの発生はまれなことが多い。そして貧困者の多い住宅街では、黒人主体のハーレムで発生が多い。このことは有色人種が生物的にコロナに弱いのではなく環境的原因を重視すべきであろう。

中国で死者が急増拡大せず、日本や朝鮮でもそうでないのは人種的原因と言うよりも、感染予防対策が根づいているからである。マスク・手洗いの励行が最大のコロナ対策であって、人工呼吸器の増設ばかりでは後手に回することを意味する。